

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2008-507516(P2008-507516A)

【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-522543(P2007-522543)

【国際特許分類】

C 07 C 37/86 (2006.01)

C 07 C 39/17 (2006.01)

C 07 B 57/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 37/86

C 07 C 39/17

C 07 B 57/00 3 4 3

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月7日(2008.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a. ラセミ体のキラル1,1'-スピロビインダン-6,6'-ジオール誘導体を供給すること、

b. 非ラセミ体のキラル成分を前記ラセミ体のキラル1,1'-スピロビインダン-6,6'-ジオール誘導体と反応させて、ジアステレオマージエステルの混合物を得ること、

c. 前記ジアステレオマージエステルの混合物を分離して、実質的に純粋な個々のジアステレオマージエステルを得ること、そして

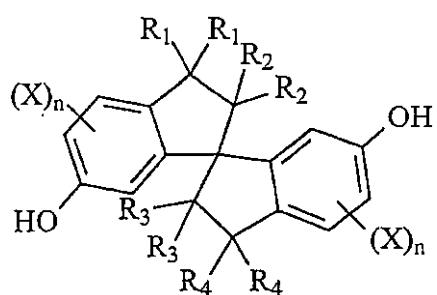
d. 前記実質的に純粋な個々のジアステレオマージエステルからそのエステル基を化学的に除去して、非ラセミ体のキラル1,1'-スピロビインダン-6,6'-ジオール誘導体を得ること、

を含む1,1'-スピロビインダン-6,6'-ジオール誘導体の鏡像異性体の化学的分離方法。

【請求項2】

前記1,1'-スピロビインダン-6,6'-ジオール誘導体が、以下の構造2:

【化1】



構造 2

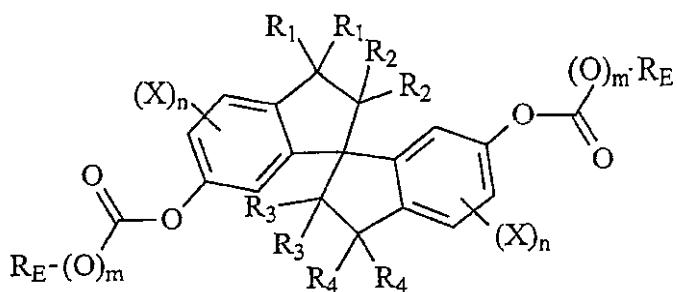
式中、

R_1 、 R_2 、 R_3 及び R_4 は、独立して、水素、又は炭素置換基であり、
 X は、独立して、置換基を表し、
 n は、独立して、整数0～3を表し、そして、
置換基 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 及び X は、環を形成してもよい、
により示される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ジアステレオマージエステルが、以下の構造3：

【化2】



構造 3

式中、

R_1 、 R_2 、 R_3 及び R_4 は、独立して、水素、又は炭素置換基であり、
 X は、独立して、置換基を表し、
 n は、独立して、整数0～3を表し、
ここで、置換基 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 及び X は、環を形成してもよく、 R_E は、キラルの、
実質的に鏡像関係にある純粋な基を表し、そして
 m は、0か1である、
により表される、請求項1に記載の方法。